

# 地域を 元気にしたい。



NPO法人 風まくら  
理事 池原忍さん・インタビュー

\* 奈義町では、那岐山に「風まくら」と呼ばれる雲がかかると強い地方風が吹くそうです。

介護保険制度が施行されて8年。仕組みはできましたが、「外出したくても交通手段が…」「布団の片付けどうしよう…。」など、地域にはたくさん「困りごと」があります。そんな困りごとを「何とかしたい」と立ち上がった人達がい

ます。その『NPO法人風まくら』で理事を務められる池原忍さんに、お話を伺いました。

以前は、他の事業所で訪問看護を行っていた池原さん。

「1km先のバス停へも歩けない、通院などの限られたときしか外出できない、医療的ケアが必要なためデイサービスを利用できないなど、地域には困りごとを抱えている人がたくさんいました。」池原さんは仕事以外で、訪問看護の利用者と一緒に花見などに行ったり、数時間診療所で過ごしてもらったりしていたそうです。そんな池原さんたちの活動や思いに賛同した人々により、

NPO法人風まくらが設立されました。

NPOの主な活動は、介護保険事業と有償ボランティア。有償ボランティアでは、福祉有償運送事業や、来客用布団の片付けや衣替え、居室以外の掃除などの介護保険外のニーズに対応しています。

NPO法や介護保険制度、福祉移送特区の認定など、制度も後押しをしてくれました。設立から6年目の今、「風まくらには、いろんなことを教えてくれて、対応してくれるところ」と相談が絶えません。行政や福祉機関からも相談があるそうです。

制度や仕組みの枠を超えて、ちよつとしたことにも応えらるる「奈義町のローカル・ルール」ができたらしいのになという池原さん。「風まくら」はこれからも、名前のとおり地域に元気な風を巻き起こしてくれそうです。